

学校教育目標	「みんながチャレンジ 明日に向かって 本気でGO！」				
	○学ぶ喜びや自分の考えで行動できる楽しさを味わえる子どもを育てます。(知) ○心と身体を磨き、めあてに向かってやり抜こうとする子どもを育てます。(徳)(体) ○子ども同士や地域での学び合いを大切にする子どもを育てます。(公)(開)				
学校概要	創立 131 周年	学校長 瀧田 健二	副校長 武士 雅子	2 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 6
	児童生徒数: 554 人	主な関係校: 本郷中学校 桜井小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	〇〇中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<問題発見・解決能力> <心身ともにたくましく生きる力> <豊かな心コミュニケーション能力> <持続可能な社会の創造に貢献する力>	本郷中学校 本郷小学校 桜井小学校	自らのよさや課題に気づき、ねばり強く挑戦を続け、自他ともに心豊かに生きようとする児童生徒 ○教育活動全般を通して、「豊かな心の育成」を目指し、ブロックとしてカリキュラムづくりの工夫・改善を推進する。 ○これまで大切にしてきた特別支援教育の視点を継続するとともに、支援者等の接点を充実する。

中期取組目標	○子ども一人ひとりの思いを大切に、学ぶ喜びや課題解決の達成感が味わえるよう、授業を充実させます。 ・体験的な学びを重視し、主体的・対話的で深い学びを通して、主体的に課題解決できる喜びを味わえるようにします。 ○心と体の健康に目を向け、何事にもあきらめず、ねばり強くめあてに向かってやり抜くことができるよう支援します。 ・体力の向上と自尊感情を高めるために、ペア学年の活動や学校行事等の取組の工夫・改善を図ります。 ○対人コミュニケーションの力を高め、豊かな心を育みます。 ・まちの人とのつながりを意識し、友達との学び合いを通して、人、学校、町を愛する心を育てます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善 担当 重点研推進委員会、教科指導部	①児童の実態を把握し、身に付けさせたい資質・能力を学校全体で共有する。②単元ごとに身に付けさせたい資質・能力を明確にした授業づくりをする。③主体的、対話的で深い学びを通して、児童の学びの充実を図る。④重点研究を切り口として、教師の授業力及び評価力の向上を図り、授業改善に努める。
徳 心の教育 担当 人権・児童委員会	①特別活動の充実を図り、コミュニケーション能力を向上させ、よりよい人間関係づくりができるようにする。②道徳教育や体験的な活動を通して、他者を思いやる心を育む。③生活科や総合的な学習を中心として、人、学校、地域を大切にする心情を育てる。
体 健康教育 担当 体育科、養護教諭	①体力テストを実施後、自分の課題に応じた運動実践に取り組めるように振り返りを行う。②年間を通して縄跳びを全校が取り組めるように委員会と協力して行う。③健康の保持増進を図るために引き続き学校保健委員会の体制を作る。④栄養士の協力のもと、食について理解を深めるとともに、バランスのよい食事を心がける。
公開 地域連携 担当 輝きづくり協議会	①年間3回の学校運営協議会を通して、学校経営方針の承認及び課題の共有を図る。また、学校経営に関する意見交換をし、経営に活かす。②地域コーディネーターをつなぐ役割としながら、学校地域協働活動を整理し、組織的に活動できるようにする。③PTA運営本部と連携し、保護者の思いを吸い上げ、学校経営に活かす。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①いじめ防止基本方針をもとに、月に一回のいじめ防止対策委員会を開催し、児童の現状を全教職員で共有する。②定期的なアンケートをもとに、いじめの未然防止、早期発見、再発防止に努める。③学級担任が一人で抱えず、常に学年、専任及び管理職で課題を共有し、迅速に対処する。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 教務会	①重点研究及びメンター研修での授業実践を通して、学習指導や生活指導の実践力を更に高める。②チーム学年経営の取組を進め、チームで学習指導や生活指導にあたる体制を整える。③教職員の働き方に対する意識改革を進め、メリハリのある勤務で、超過勤務時間の軽減を図る。
特別支援教育 担当 専任、児童指導部個別支援学級	①専任を中心に特別支援教育の充実を図る。②特別支援教室としての「はとまるルーム」を活用し、児童の困り感に沿った学習支援や個に応じた支援体制を整える。③不登校児童のニーズに合わせた学びの体制が整うように学校と家庭を繋いでいく。
ICT教育 担当 ギガスクール委員会	①タブレットを利用して主体的に情報収集や情報の取捨選択を行い、効果的に活用できる児童を育成する。②情報モラルやセキュリティについて、児童および保護者に必要な情報提供を行う。③ICT支援員の力を借りながら、教職員のICT教育に関する知識や能力の育成を図る。
児童安全対策 担当 安全部、校外指導委員会	①PTA校外委員会を中心にスクールゾーン対策協議会で学区の危険個所を確認し、関係機関に働きかける。②学援隊に協力を仰ぎ、日々の児童の登下校の安全を確保する。③警察、児童相談所、区役所等関係機関と連携し、犯罪、虐待などから児童を守る。
特設クラブ 担当 外部講師及び保護者会	①特設マーチングバンドクラブの活動を通して、音楽に親しむ心情を養う。②学校行事及び地域行事への参加を基本とする中で、県大会、関東大会等でも成果を発表できるように努力する。③学校のクラブから持続可能な形で地域化を図っていく中で、学校がバックアップできる体制づくりを模索する。